

教員公募のお知らせ

富山県立大学（工学部）では、次のとおり、教員の公募を実施しています。多くの皆様のご応募をお待ちしております。

富山県立大学は、日本海側初の工学系公立大学として平成2年に開学して以来、地域に貢献し、より魅力ある大学を目指して、たえず教育研究の充実と高度化に努め、社会の発展に役立つ技術者を輩出してきました。

平成27年4月に地方独立行政法人となったことを契機として、今まで以上に、学生を大きく伸ばす教育力の高い大学、未来を志向した高度な研究を推進する大学、広く開かれ地域に貢献する大学を目指してまいります。

令和4年4月に開設する「DX 教育研究センター(仮称)」にて、DXに関する教育研究に取り組んでいただける人材を募集します。
DX教育研究センター(仮称)の概要は、別紙のとおりです。

工学部 公募一覧

	分野	学科	職名	募集人員	採用予定日	公募締切日
1	情報セキュリティ分野	情報システム工学科	教授または准教授	1	令和4年 4月1日	令和3年 9月1日
2	並列分散処理分野	情報システム工学科	教授または准教授	1		

※ 公募の詳細は、別紙1～2をご覧ください。

※ 履歴書の記載に当たっては、別紙をご参照ください。

富山県立大学 DX 教育研究センター（仮称）

富山県立大学では、令和4年4月1日よりDX教育研究センター（仮称）を設置します。DXとは、デジタル・トランスフォーメーションの略であり、デジタル技術を活用することによって社会に変革をもたらし、人々の暮らしをより良くするという概念を指します。本学はDXの取り組みを行うことにより、地域社会はもとより、広く人々の生活を支援するための人材教育や高度な研究を推進します。

DX教育研究センター（以下、DXセンター）は、射水キャンパス内に整備し、令和4年4月供用開始する予定です（図1）。センター内にオープンなスペースを準備する計画で、イノベーションを起こすために最新の機器を設置し、本学の教員や学生をはじめ、学外の企業や大学の人材を受け入れながら、自由な雰囲気での研究開発が可能な環境を整えます。



図1 DX教育研究センター(仮称)の外観イメージ

新規に導入する装置として、没入型仮想環境（CAVE型ディスプレイ）、モーションキャプチャ装置、CNC3次元測定器等があり、企業とともに製品化も視野に入れた実践的・応用的な研究を推進する計画です。また学術情報ネットワーク SINET への接続や帯域 100G の高速な通信環境も整備します。

想定している研究分野は、工場や製造業分野（図2）、医療・福祉・看護分野（図3）、屋外・フィールド分野（図4）をはじめ、様々です。先進的な研究を推進することも重視する一方で、地域社会への貢献も重要なミッションの一つと考え、自治体との連携も推進する計画です。

図2 工場や製造業分野

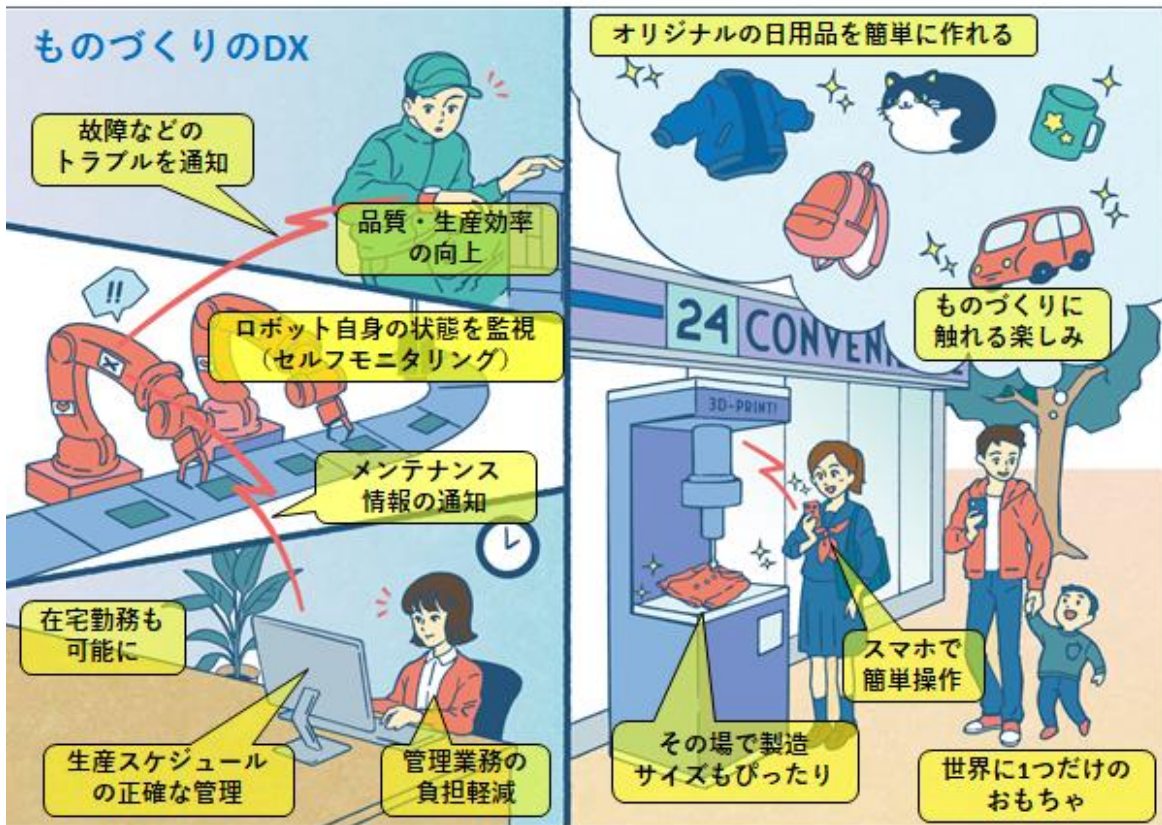


図3 医療・福祉・看護分野

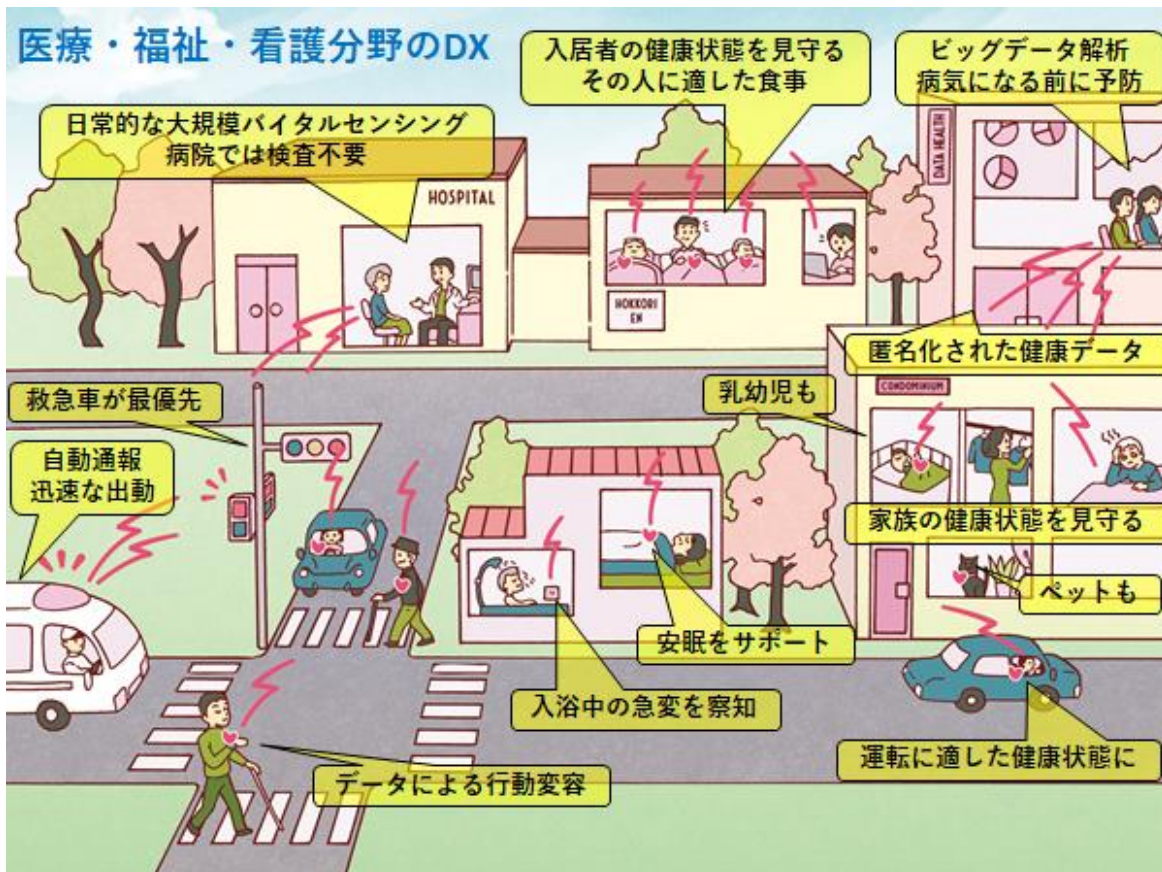


図4 屋外・フィールド分野

